

# 地理歴史

地理 A

(100点)  
(60分)

この問題冊子には、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の6科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しなさい。

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

| 出題科目  | ページ     | 選 択 方 法                   |
|-------|---------|---------------------------|
| 世界史 A | 4～21    | 左の6科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。 |
| 世界史 B | 22～47   |                           |
| 日本史 A | 48～73   |                           |
| 日本史 B | 74～101  |                           |
| 地理 A  | 102～135 |                           |
| 地理 B  | 136～175 |                           |

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

### ① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。  
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

### ② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

裏表紙に続く。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

|    |
|----|
| 10 |
|----|

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

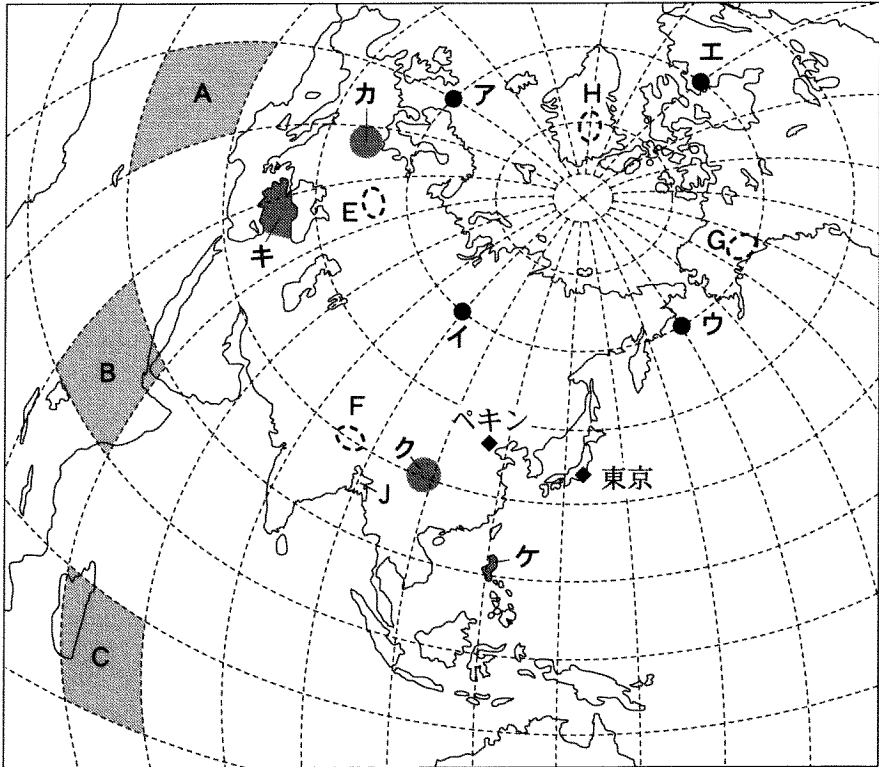
| 解答番号 | 解 答 欄               |
|------|---------------------|
| 1 0  | ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ |

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。  
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 地 理 A

( 解答番号  ~  )

**第1問** 次の図1を見て、地理の基礎的事項に関する下の問い(問1～8)に答えよ。(配点 16)



緯線・経線は15度間隔。  
東京を中心とした正距方位図法による。  
国境線は、設問にかかわる部分のみを記入した。

図 1

地理 A

問 1 図 1 中の東京からみたペキンの方位とおよその距離との正しい組合せを、次の①～④のうちから一つ選べ。

|         | ①     | ②     | ③     | ④     |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 方位      | 北北西   | 北北西   | 西北西   | 西北西   |
| 距離 (km) | 2,000 | 5,000 | 2,000 | 5,000 |

問 2 図 1 中のア～エの地点のうち、2 地点間の地球上での距離が最短となる組合せを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① アとイ      ② イとウ      ③ ウとエ      ④ エとア

問 3 図 1 中の A～C で示した範囲の地球上の面積について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① A で示した範囲の面積が最も広い。  
 ② B で示した範囲の面積が最も広い。  
 ③ C で示した範囲の面積が最も広い。  
 ④ A～C で示した範囲の面積はすべて同じである。

問 4 図 1 中のカ～ケの中で、地震災害がほとんど発生しない地域を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① カ      ② キ      ③ ク      ④ ケ

問 5 図 1 中の E～H のうち、氷河が存在しない地域を、次の①～④のうちから一つ選べ。

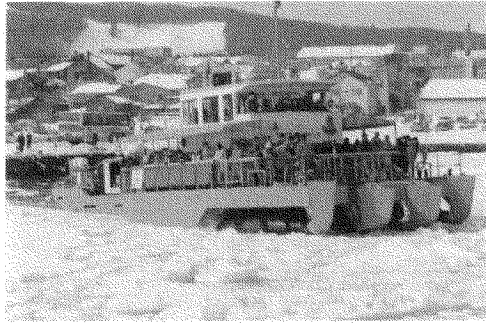
- ① E      ② F      ③ G      ④ H

## 地理 A

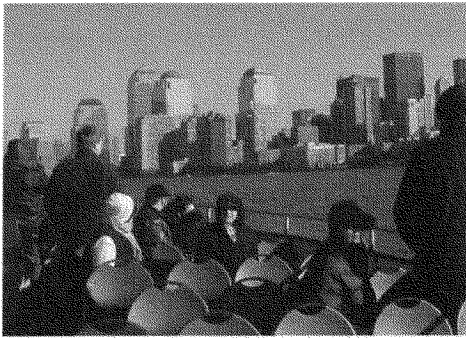
問 6 図 1 中の J 国の主食として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 小麦      ② 米      ③ ジャガイモ      ④ トウモロコシ

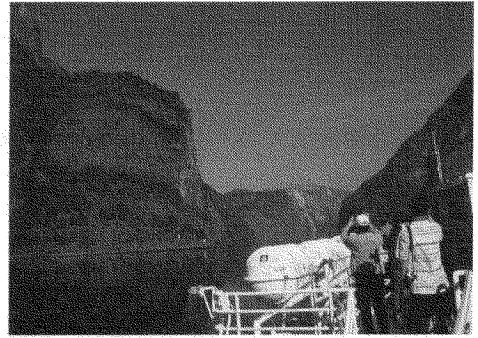
問 7 次の写真 1 中の L～N は、次ページの図 2 中のサ～スのいずれかの地点において、水辺の風景を楽しむ人々の様子を撮影したものである。写真 1 中の L～N とサ～スとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。



L



M



N

写真 1

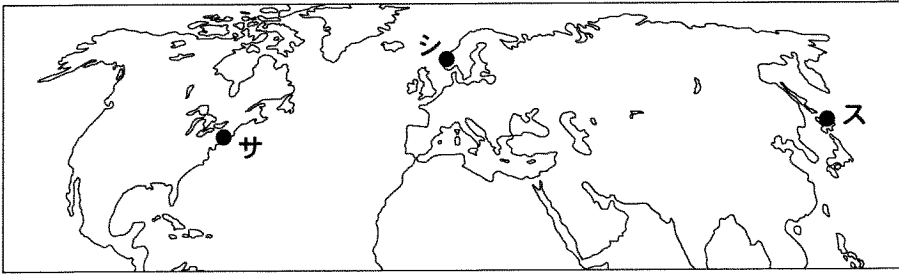


図 2

|   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
|   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| L | サ | サ | シ | シ | ス | ス |
| M | シ | ス | サ | ス | サ | シ |
| N | ス | シ | ス | サ | シ | サ |

問 8 次の表1は、国土の面積\*に占める耕地、牧場・牧草地、森林、その他の割合を国別に示したものであり、①～④は、アラブ首長国連邦、カンボジア、日本、モンゴルのいずれかである。カンボジアに該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 8

\*内水面面積を除く。

表 1

(単位：%)

|   | 耕 地  | 牧場・牧草地 | 森 林  | その他  |
|---|------|--------|------|------|
| ① | 21.8 | 8.5    | 59.2 | 10.5 |
| ② | 12.9 | 1.2    | 68.2 | 17.7 |
| ③ | 3.0  | 3.6    | 3.7  | 89.7 |
| ④ | 0.8  | 82.5   | 6.5  | 10.2 |

統計年次は2003～2005年。

FAOの資料により作成。

## 地理 A

**第 2 問** 山形県最上地域\*に住むチエミさんは、先生の指導を受けながら夏休みの課題として身近な地域の調査を行った。山形県および最上地域を示す次の図 1 を見て、自然や人々の暮らしに関する下の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 21)

\*新庄市、かねやま金山町、ふねがた舟形町、まむろがわ真室川町、最上町、大蔵村、鮭川村、戸沢村の 1 市 4 町 3 村で構成される。

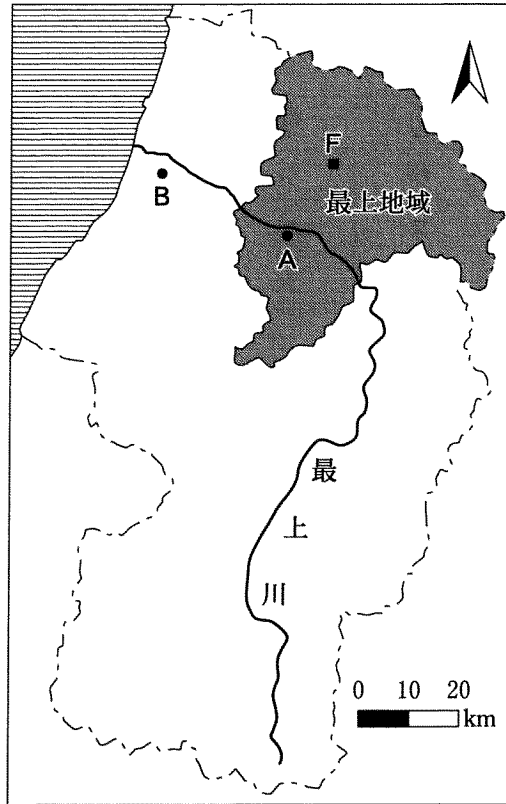


図 1

問 1 チエミさんは、数値標高データを使って山形県の地形を調べた。次ページの図 2 は山形県の地形を 200 m 間隔の等高線で表現したものであり、図 3 は図 2 の最上地域付近に設定した範囲アを図 2 中に示す①～④のいずれかの方向から見た時のちようかん鳥瞰図である。図 3 のように見える方向に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

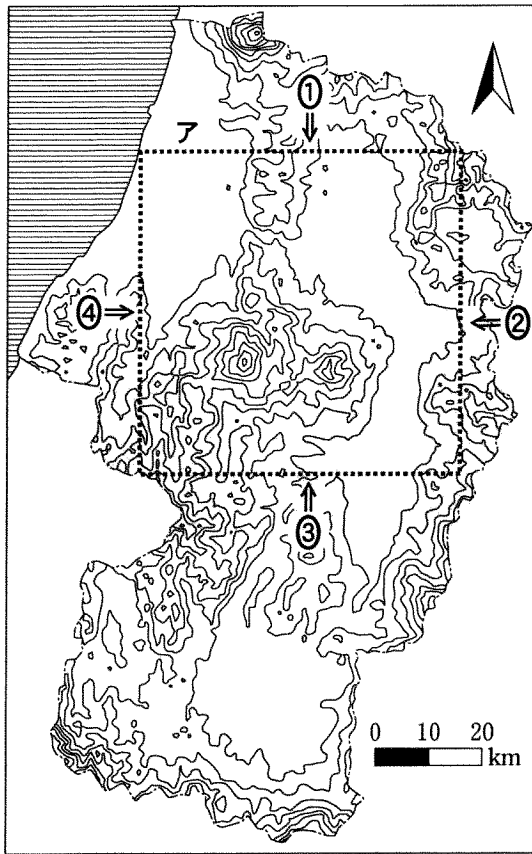


図 2

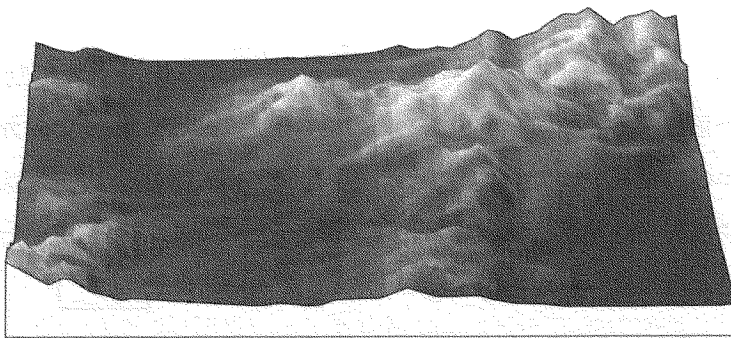
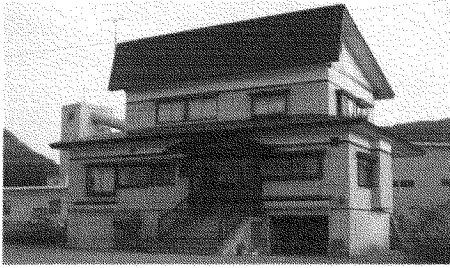


図 3



## 地理 A

問 2 チエミさんは、最上地域と隣接地域との間で住居の景観が異なることに興味をもった。次の写真 1 は図 1 中の A 地点と B 地点で撮影した家屋であり、下の文章はそれらの自然環境に対応した工夫について述べたものである。下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 10



A 地点でみられる家屋



B 地点でみられる家屋

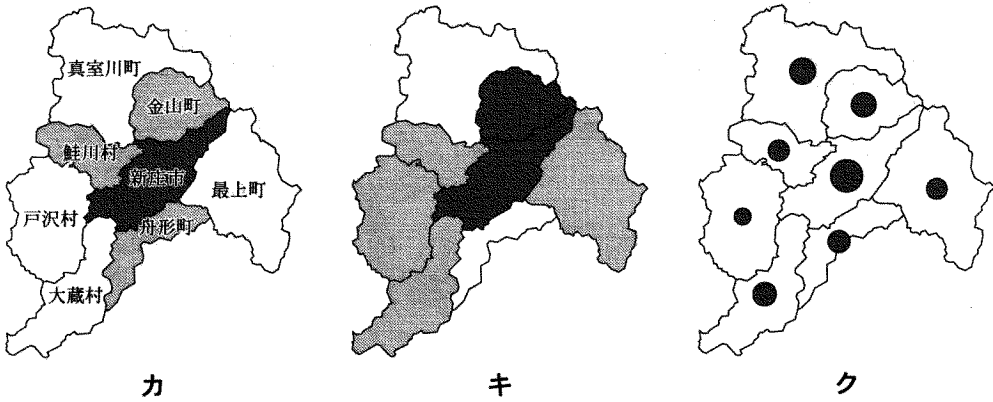
写真 1

A 地点では、積雪量の多さに対応した工夫がみられ、①雪の滑落を容易にするための急な傾斜のトタン屋根をもち、②冬季に家屋への出入りを容易にするための高い床をもつ家屋を目にすることが多い。一方 B 地点では、③夏季にやませの影響を受け、④冬季に季節風の影響を受けるため、屋敷林を設けた家屋がみられる。

問 3 次ページの表 1 は、最上地域の市町村ごとに 15 歳未満人口割合、人口密度、野菜の産出額の値を示したものであり、次ページの図 4 中のカ～クは、いずれかの指標についてチエミさんが作成した地図である。カとキは色が濃いほど、クは円の面積が大きいほど大きな値を示している。カ～クと指標との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 11

表 1

|                          | 新庄市   | 金山町  | 舟形町  | 真室川町 | 最上町  | 大蔵村  | 鮭川村  | 戸沢村  |
|--------------------------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 15歳未満人口割合(%)             | 15.0  | 14.1 | 11.6 | 12.4 | 13.3 | 13.3 | 13.4 | 13.1 |
| 人口密度(人/km <sup>2</sup> ) | 182.5 | 43.0 | 56.0 | 26.9 | 32.6 | 20.0 | 44.5 | 22.6 |
| 野菜の産出額(億円)               | 6.3   | 3.5  | 3.2  | 4.1  | 2.6  | 3.3  | 2.7  | 1.7  |



統計年次は 2005 年。  
 国勢調査などにより作成。

図 4

|   | カ         | キ         | ク         |
|---|-----------|-----------|-----------|
| ① | 15歳未満人口割合 | 人口密度      | 野菜の産出額    |
| ② | 15歳未満人口割合 | 野菜の産出額    | 人口密度      |
| ③ | 人口密度      | 15歳未満人口割合 | 野菜の産出額    |
| ④ | 人口密度      | 野菜の産出額    | 15歳未満人口割合 |
| ⑤ | 野菜の産出額    | 15歳未満人口割合 | 人口密度      |
| ⑥ | 野菜の産出額    | 人口密度      | 15歳未満人口割合 |

## 地理 A

問 4 チエミさんは、真室川町付近の地形を調べることにした。次の図5は、図1中に示したF地点付近の1969年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図5にみられる地形について述べた下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 12

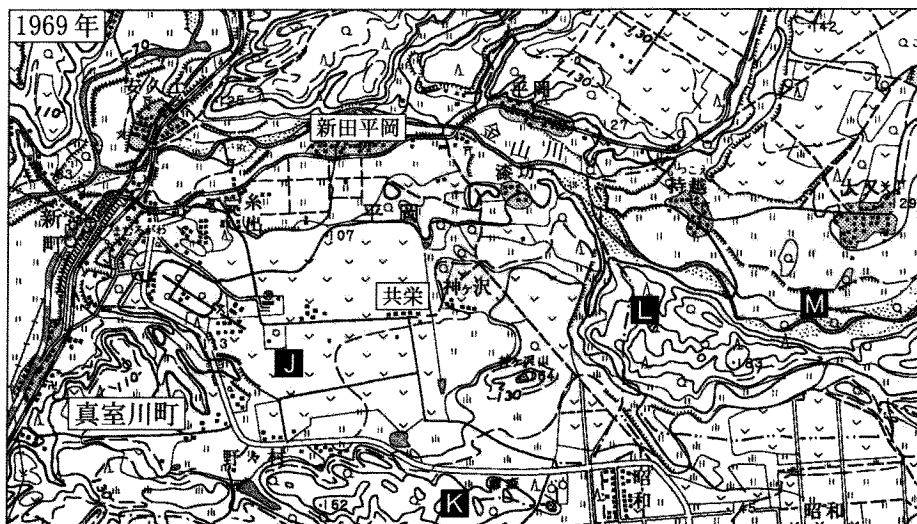


図 5

新田平岡集落の北を通る金山川に沿って①氾濫原<sup>ほんらんげん</sup>がみられる。共栄集落は②河岸段丘にあり、その集落の③約600m南には丘陵地もみられる。共栄集落と新田平岡集落との標高差は④約30mあるため、共栄集落は新田平岡集落に比べて水利条件は良くなかった。

問 5 次の図6は、図5と同じ範囲の2003年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。チエミさんは、図5と図6を比較して土地利用の変化を読み取った。その変化を述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

13



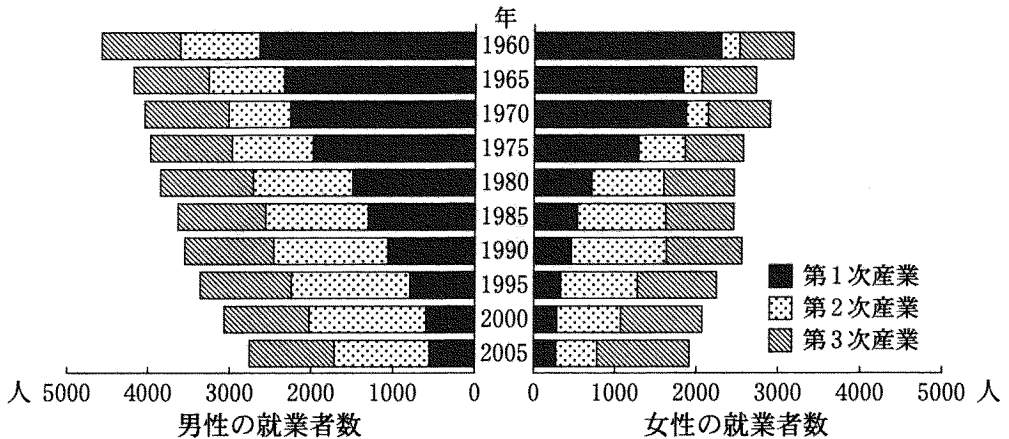
図 6

- ① J地点付近は畑であったが、水田に変化した。
- ② K地点付近では広葉樹林がみられたが、牧草地に変化した。
- ③ L地点付近は広葉樹林と針葉樹林であったが、竹林に変化した。
- ④ M地点付近では広葉樹林がみられたが、堤防が整備された。

## 地理 A

問 6 チエミさんは、図 6 から真室川町への工場の進出を読み取り、真室川町の人々がどのような産業に従事してきたかに興味をもった。次の図 7 は、真室川町の 1960 年以降の産業別就業者数を男女別に示したものである。図 7 から読み取れることから述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14



国勢調査により作成。

図 7

- ① 1970 年以降では、第 2 次産業の就業者数は、男性の方が女性よりも早く減少し始めた。
- ② 1980 年の第 1 次産業の男性就業者数は、1960 年に比べ半分以下となった。
- ③ 1985 年から 1995 年にかけて第 2 次産業の就業者数は、男女ともに増加を示した。
- ④ 第 2 次産業の就業者数が第 1 次産業の就業者数を上回った時期は、男性よりも女性の方が早い。

## 地理 A

問 7 チエミさんは、写真 1 の A 地点でみられるような高い床をもつ建物が海外にもあることを思い出した。写真 2 は北緯約 71 度に位置するパロー〔アメリカ合衆国〕でみられる建物である。高い床とする理由について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

|    |
|----|
| 15 |
|----|



写真 2

- ① 海岸に近いので津波や高潮に備えるため。
- ② 湿気が多いので風通しを良くするため。
- ③ 建物からの熱で永久凍土が融けて建物<sup>と</sup>が傾くのを防ぐため。
- ④ 保管している穀物をネズミなどの害から守るため。

## 地理 A

### 第 3 問 国境を越えた世界の結びつきに関する次の問い(問 1～7)に答えよ。

(配点 21)

問 1 次の表 1 中の①～④は、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、フランスのいずれかの国について、登録外国人人口の上位 3 か国を国籍別に示したものである。ドイツに該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 16

表 1

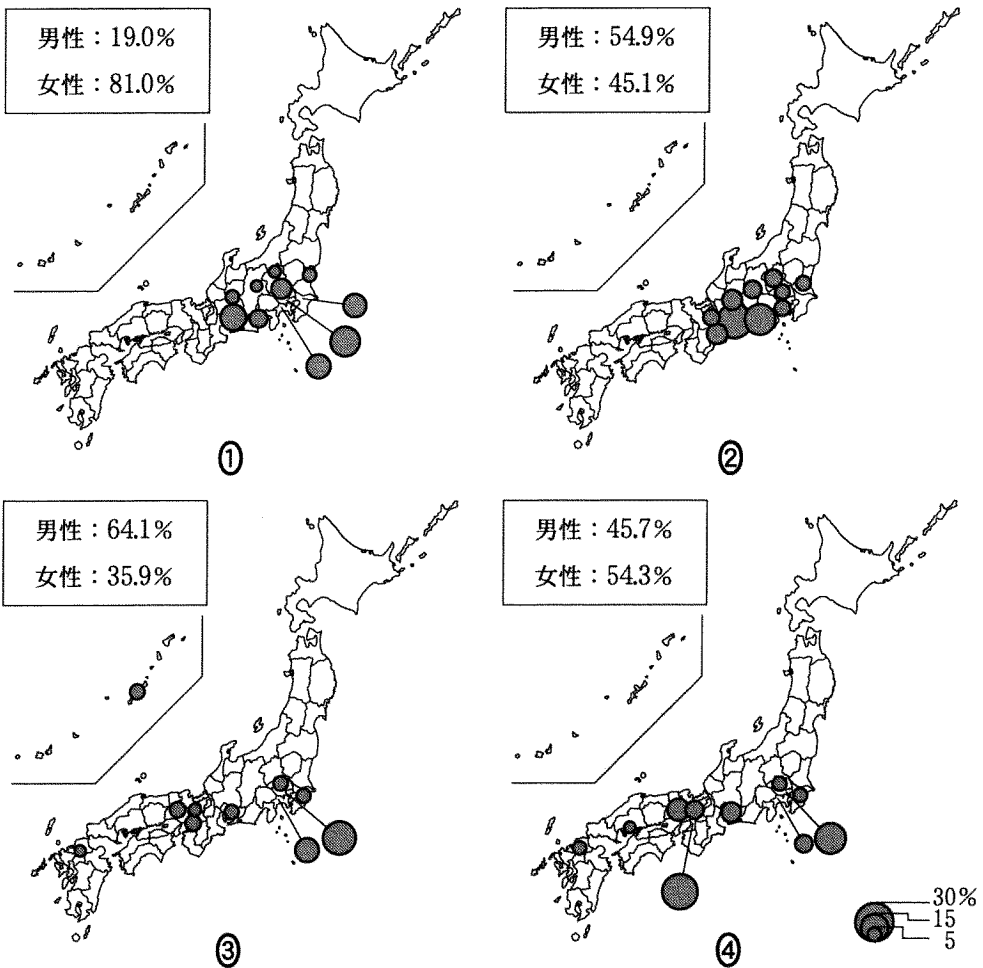
| 順位  | ①      | ②     | ③      | ④      |
|-----|--------|-------|--------|--------|
| 1 位 | スウェーデン | トルコ   | ポルトガル  | ロシア    |
| 2 位 | デンマーク  | イタリア  | アルジェリア | エストニア  |
| 3 位 | ポーランド  | ポーランド | モロッコ   | スウェーデン |

統計年次はドイツ、ノルウェー、フィンランドが 2006 年、フランスが 2005 年。  
OECD, *International Migration Outlook* により作成。

問 2 日本からアメリカ合衆国への国際移動について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 17

第二次世界大戦前に移住した日本人は、主として農業に従事した。古くは①ハワイでサトウキビを栽培したり、②カリフォルニアで米作りや野菜栽培を行った。それに対して第二次世界大戦後に渡航した日本人は、多様な分野に従事するようになった。例えば 1990 年代以降は、③プロのスポーツ選手としてアメリカ合衆国へ渡航する者が増加した。また、国際貢献を果たす機会も増え、④JOCV(青年海外協力隊)の派遣先のうち、派遣人数が最も多い国はアメリカ合衆国である。

問 3 次の図1は、日本に在住するいくつかの国の外国人について、国籍ごとの日本全体に占める男女の割合と、国籍ごとの日本全体に占める都道府県別の割合を上位10都府県について示したものであり、①～④は、国籍がアメリカ合衆国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルのいずれかである。ブラジルに該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 18



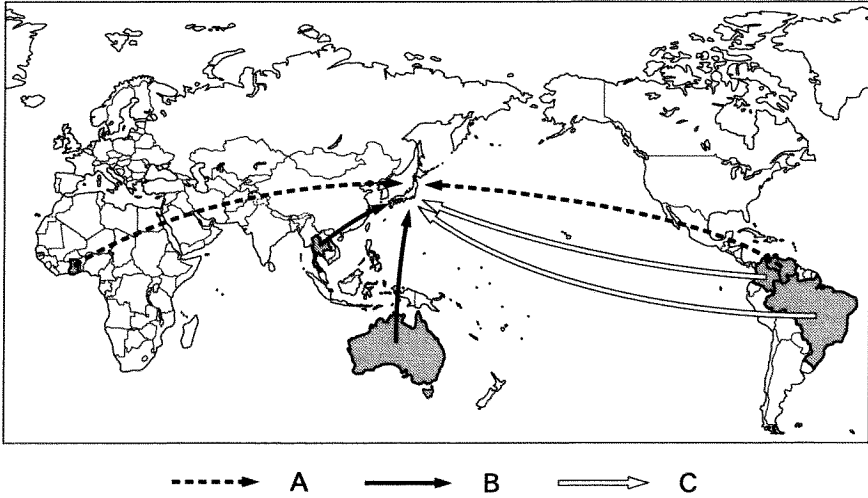
統計年次は 2005 年。  
 国勢調査により作成。

図 1



## 地理 A

問 4 次の図 2 中の A～C の矢印は、カカオ豆、コーヒー生豆、砂糖のいずれかについて、日本の輸入額上位 2 개국からの流れを示したものである。図 2 中の A～C と品名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19



統計年次は 2007 年。  
財務省の資料により作成。

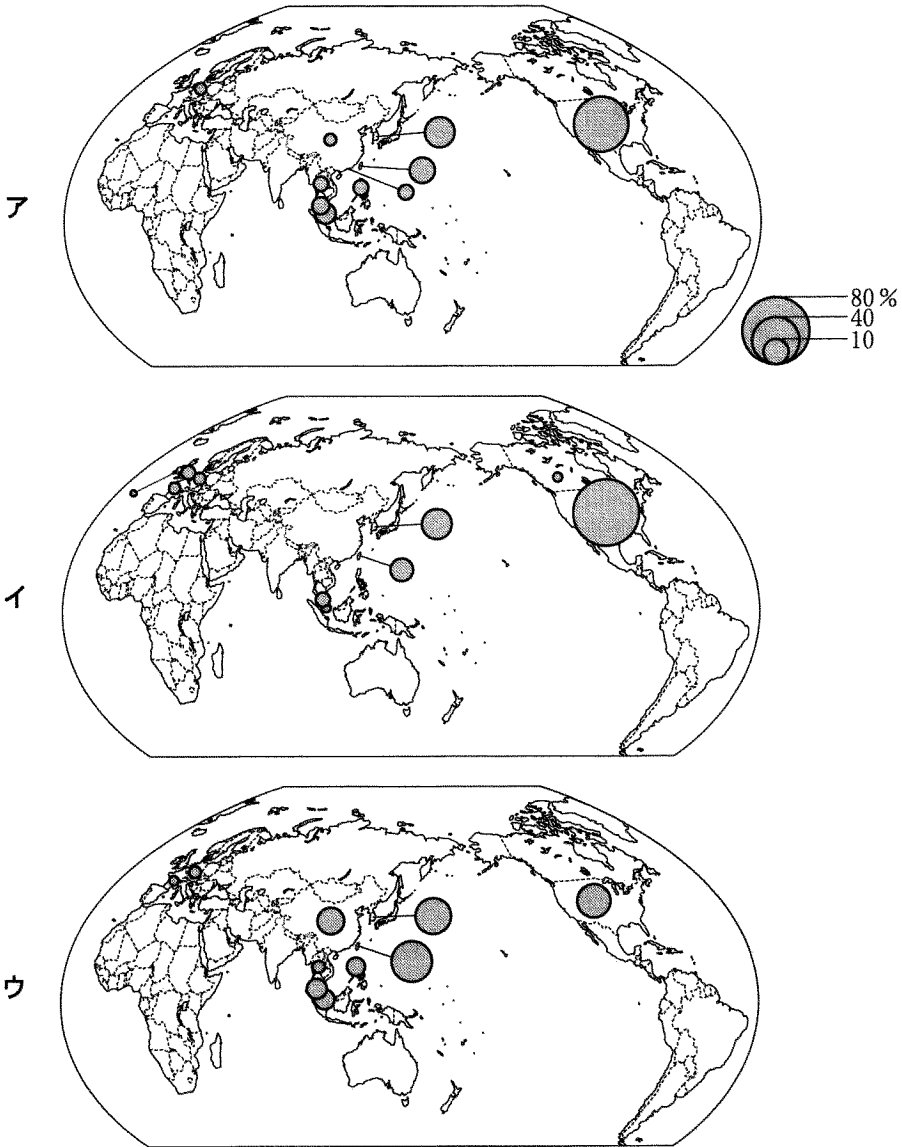
図 2

|   | A      | B      | C      |
|---|--------|--------|--------|
| ① | カカオ豆   | コーヒー生豆 | 砂糖     |
| ② | カカオ豆   | 砂糖     | コーヒー生豆 |
| ③ | コーヒー生豆 | カカオ豆   | 砂糖     |
| ④ | コーヒー生豆 | 砂糖     | カカオ豆   |
| ⑤ | 砂糖     | カカオ豆   | コーヒー生豆 |
| ⑥ | 砂糖     | コーヒー生豆 | カカオ豆   |

地理A

問 5 次の図3は、日本の半導体等電子部品\*の輸入について、輸入額に占める割合の上位10か国・地域を示したものであり、ア～ウは、1988年、1998年、2008年のいずれかの年次である。図3中のア～ウと年次との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 20

\*トランジスタ、IC(集積回路)、ダイオードなど。



中国には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。国境線は2008年時点。財務省の資料により作成。

図 3

地理 A

|   | 1988 年 | 1998 年 | 2008 年 |
|---|--------|--------|--------|
| ① | ア      | イ      | ウ      |
| ② | ア      | ウ      | イ      |
| ③ | イ      | ア      | ウ      |
| ④ | イ      | ウ      | ア      |
| ⑤ | ウ      | ア      | イ      |
| ⑥ | ウ      | イ      | ア      |

問 6 次の表 2 は、日本における輸入総額上位 7 位までの空港・港湾について、輸入総額と輸入額の上位 3 品目を示したものであり、①～④は、関西空港、成田空港、東京港、名古屋港のいずれかである。成田空港に該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 21

表 2

| 空港・港湾名 | 輸入総額<br>(億円) | 輸入額の上位 3 品目 |        |        |
|--------|--------------|-------------|--------|--------|
|        |              | 1 位         | 2 位    | 3 位    |
| ①      | 121,695      | 集積回路        | 精密機械   | コンピュータ |
| ②      | 69,858       | 魚介類         | 衣類     | コンピュータ |
| ③      | 45,686       | 石油          | 液化ガス   | アルミニウム |
| 大阪港    | 38,810       | 衣類          | コンピュータ | 肉類     |
| 横浜港    | 38,688       | 石油          | アルミニウム | 液化ガス   |
| 千葉港    | 38,090       | 石油          | 液化ガス   | 自動車    |
| ④      | 28,667       | 医薬品         | 集積回路   | 精密機械   |

統計年次は 2006 年。

『日本国勢図会』により作成。

問 7 次の表 3 は、日本に立地する外資系企業の親企業(親会社)の国籍(本社所在地)と、日本企業の海外現地法人の所在地について、企業数および現地法人数の上位 6 位までを国・地域別に示したものであり、K~N は、アメリカ合衆国、タイ、中国\*、ドイツのいずれかである。アメリカ合衆国に該当するものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 22

\*外資系企業の中国には、台湾、ホンコンを含まない。日本企業の現地法人数の中国には、台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 3

| 順位  | 日本に立地する外資系企業の親企業の国籍 |       | 日本企業の海外現地法人の所在地 |       |
|-----|---------------------|-------|-----------------|-------|
|     | 国・地域名               | 企業数   | 国・地域名           | 現地法人数 |
| 1 位 | K                   | 1,443 | M               | 4,878 |
| 2 位 | L                   | 392   | K               | 3,282 |
| 3 位 | フランス                | 239   | N               | 1,577 |
| 4 位 | イギリス                | 225   | ホンコン            | 1,135 |
| 5 位 | 韓 国                 | 161   | シンガポール          | 991   |
| 6 位 | スイス                 | 146   | 台 湾             | 896   |

統計年次は、外資系企業の親企業の国籍が 2008 年、日本企業の海外現地法人数が 2007 年。

『外資系企業総覧』などにより作成。

- ① K                      ② L                      ③ M                      ④ N

## 地理A

第4問 次の図1は、太平洋を中心とした地域を示したものである。図1を見て、この地域の自然と生活・文化に関する下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 21)

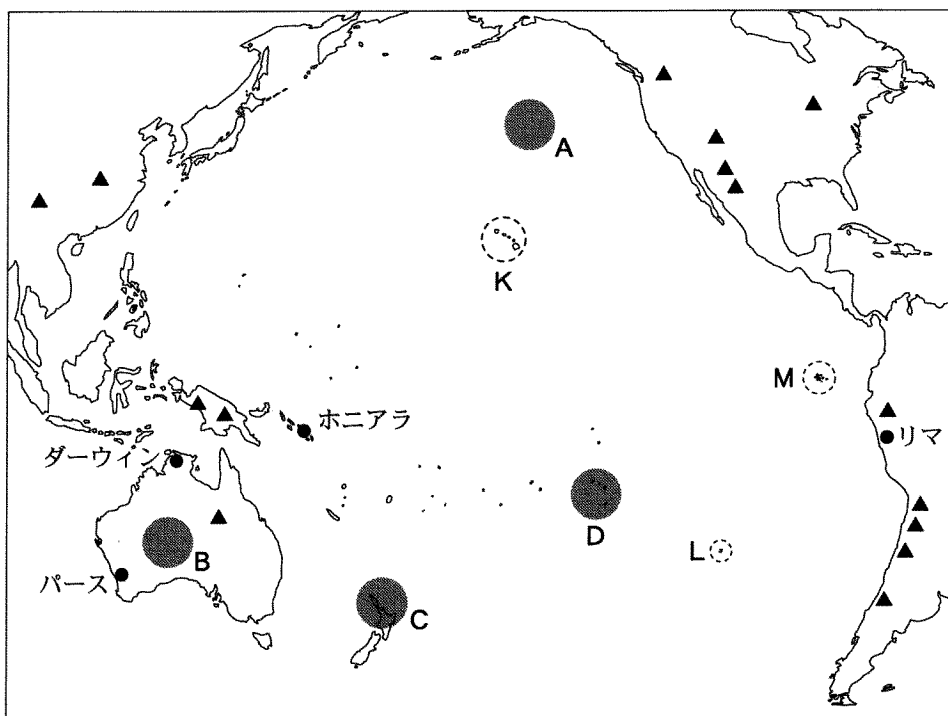
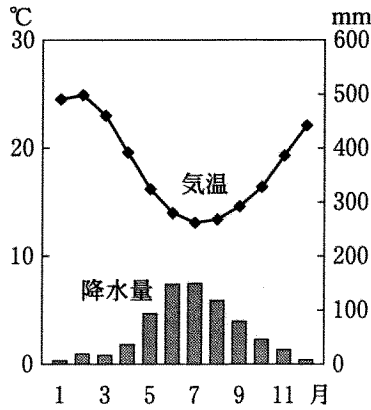


図 1

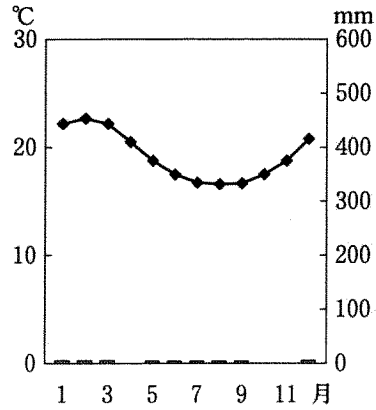
問1 図1中に示したA～Dの地域における自然環境について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① A海域はプレートの境界に位置し、地震が多く発生する。
- ② B地域は安定陸塊(安定大陸)に位置し、特徴的な侵食地形がみられる。
- ③ C地域は新期造山帯に属し、活火山がみられる。
- ④ D海域にある島々では、サンゴ礁が発達している。

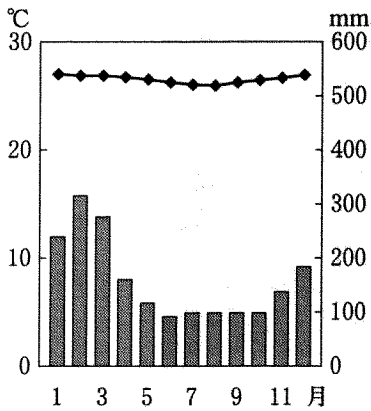
問 2 次の図 2 中の①～④は、図 1 中のダーウィン、パース、ホニアラ、リマのいずれかの地点における月平均気温と月降水量を示したものである。ダーウィンに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 24



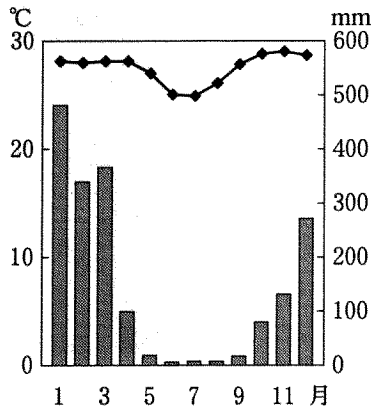
①



②



③



④

『理科年表』により作成。

図 2

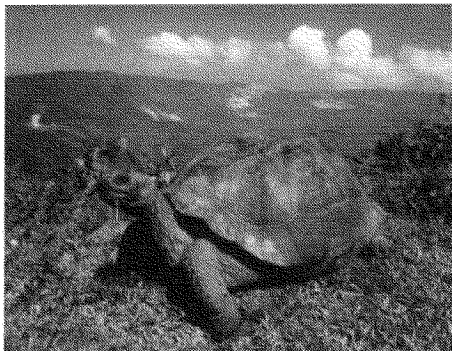
## 地理 A

問 3 次の写真 1 中のア～ウは、図 1 中の K～M に位置するいずれかの島で撮影されたものである。ア～ウと K～M との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

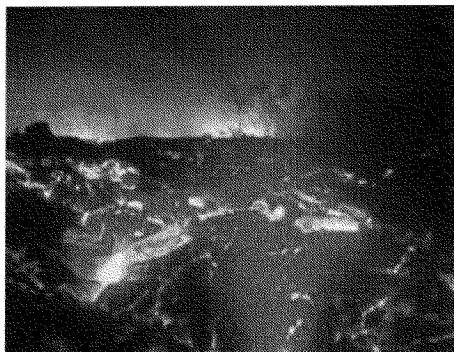
25



ア 巨大な石像群で知られ、世界文化遺産に登録された。



イ 固有の進化をとげた動植物が多くみられるため、世界自然遺産に登録された。



ウ 世界最大規模の噴火活動がみられ、世界自然遺産に登録された。

写真 1

|   | ア | イ | ウ |
|---|---|---|---|
| ① | K | L | M |
| ② | K | M | L |
| ③ | L | K | M |
| ④ | L | M | K |
| ⑤ | M | K | L |
| ⑥ | M | L | K |

問 4 図1中の▲は、ある鉱産資源の主な産出地である。この鉱産資源に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 石炭      ② 鉄鉱石      ③ 銅      ④ ポーキサイト



## 地理 A

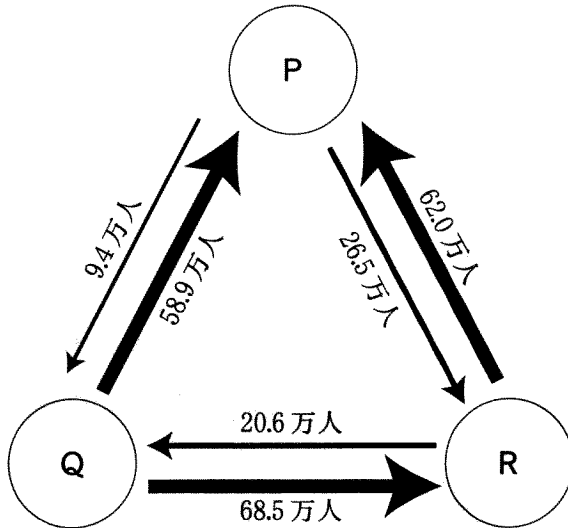
問 5 太平洋を中心とした地域における産業や経済について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① オーストラリアやニュージーランドは、ASEAN(東南アジア諸国連合)に加盟し、政治や経済の面で東南アジア地域との連携を深めている。
- ② 日本は、多くの国・地域と漁業協定を結び、太平洋における漁獲量の管理と水産資源の保護に取り組んでいる。
- ③ ニュージーランドやトンガでは、日本と季節が異なることを利用して、日本向けの農産物が生産されている。
- ④ ミクロネシアでは、アメリカ合衆国に防衛や外交を委ねて、財政援助を受けている国・地域がみられる。

問 6 太平洋を中心とした地域における生活や文化について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① オーストラリアでは、かつての白豪主義が撤廃され、現在では多くの国からの移民を受け入れる多文化主義がとられている。
- ② ツバルでは、標高が低い<sup>てつばい</sup>ため、地球温暖化にともなう海水面の上昇による島民の生活への影響が懸念されている。
- ③ ニュージーランドでは、アジアや南太平洋の国・地域からの移民が増加し、英語のほかに中国語が公用語とされている。
- ④ 南太平洋の島々では、タロイモやヤマイモなどのイモ類を主食として、風通しのよい家屋に居住する伝統的な生活様式もみられる。

問 7 次の図 3 は、オーストラリア、シンガポール、日本の 3 か国間における、各国民の年間旅行者数を示したものであり、P～R はそれら 3 か国のいずれかである。図 3 中の P～R と国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29



統計年次は 2005 年。  
『JNTO 国際観光白書』により作成。

図 3

|   | P       | Q       | R       |
|---|---------|---------|---------|
| ① | オーストラリア | シンガポール  | 日 本     |
| ② | オーストラリア | 日 本     | シンガポール  |
| ③ | シンガポール  | オーストラリア | 日 本     |
| ④ | シンガポール  | 日 本     | オーストラリア |
| ⑤ | 日 本     | オーストラリア | シンガポール  |
| ⑥ | 日 本     | シンガポール  | オーストラリア |

## 地理 A

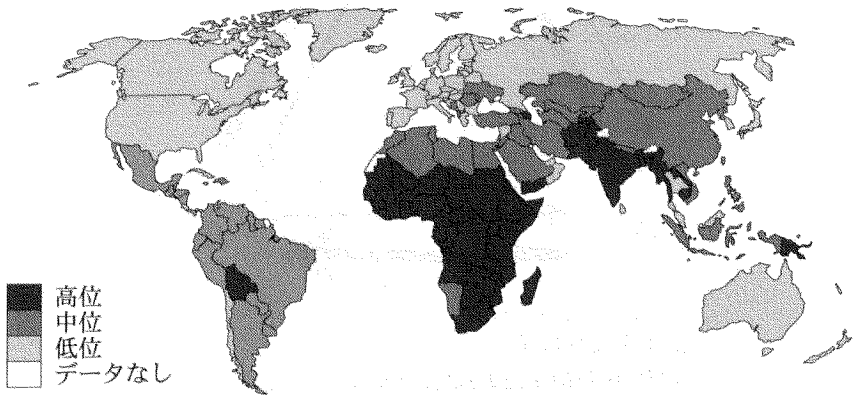
### 第 5 問 地球的問題に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 21)

問 1 人々の健康を取りまく環境は国・地域によって異なる。次の図 1 中のア～ウは、安全な水へのアクセス率\*、1人当たり二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)排出量、乳幼児\*\*死亡率のいずれかについて、国・地域別にその高低を示したものである。図 1 中のア～ウと指標との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

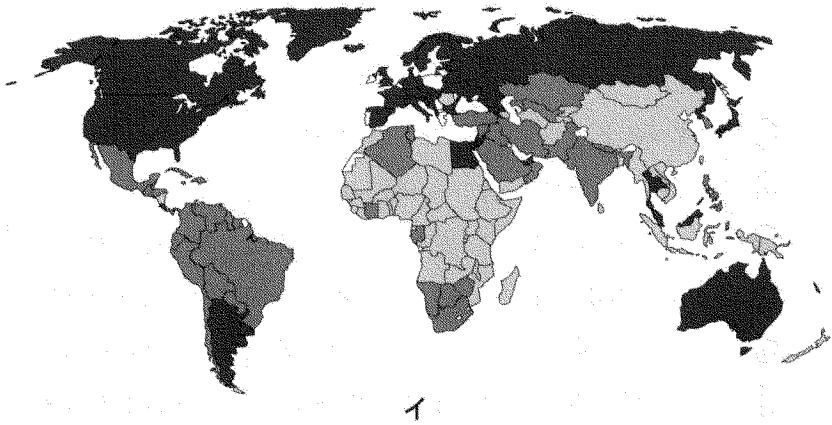
30

\* 1人1日当たり最低 20 リットルの安全な飲料水が、住居から 1 km 以内の範囲に確保されている人口の割合。

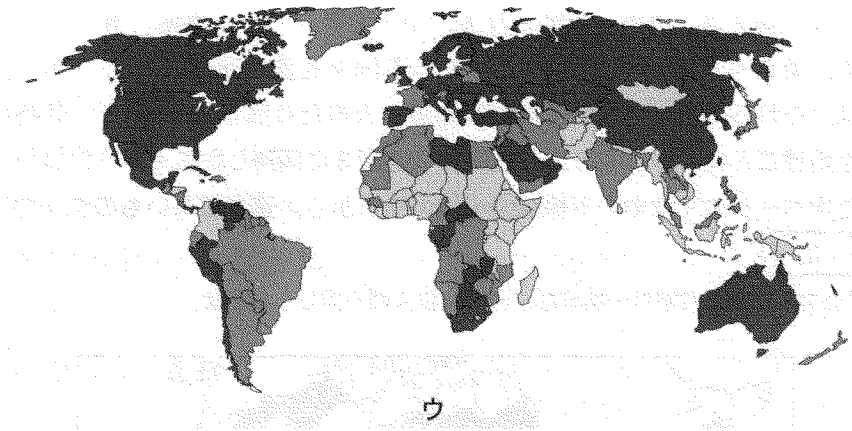
\*\* 5 歳未満。



ア



イ



統計年次は、安全な水へのアクセス率と、1人当たり二酸化硫黄排出量が2000年、乳幼児死亡率が2006年。  
WHOの資料などにより作成。

図 1

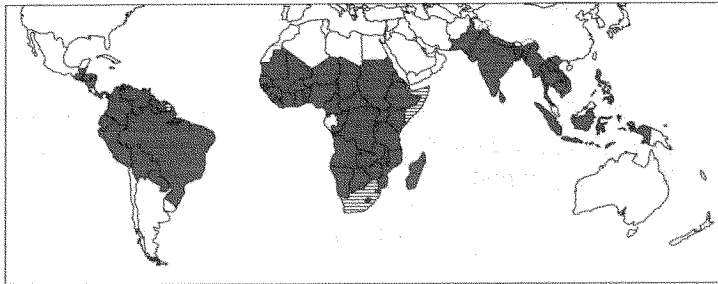
|               | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 安全な水へのアクセス率   | ア | ア | イ | イ | ウ | ウ |
| 1人当たり二酸化硫黄排出量 | イ | ウ | ア | ウ | ア | イ |
| 乳幼児死亡率        | ウ | イ | ウ | ア | イ | ア |

## 地理 A

問 2 次の図2は、中央・南アメリカ、中・南アフリカ、東南・南アジアについて、栄養不足人口が5%以上を占める国々を濃く示したものであり、図3は、それらの国々について農業従事者1人当たり農業総生産\*と、穀物自給率を地域ごとに示したものである。図2と図3に関連したことからについて述べた次ページの文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。

31

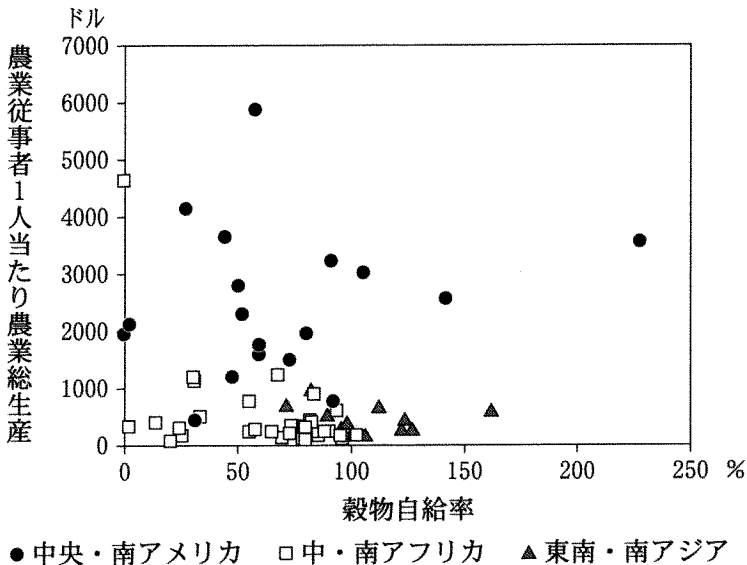
\*農業生産額から肥料・農薬などの中間投入額を差し引いた値。



■ 栄養不足人口が5%以上の国    □ 栄養不足人口が5%未満  
 ▨ データなし                      □ あるいは該当地域外の国

統計年次は2003～2005年のいずれか。FAOの資料により作成。

図 2



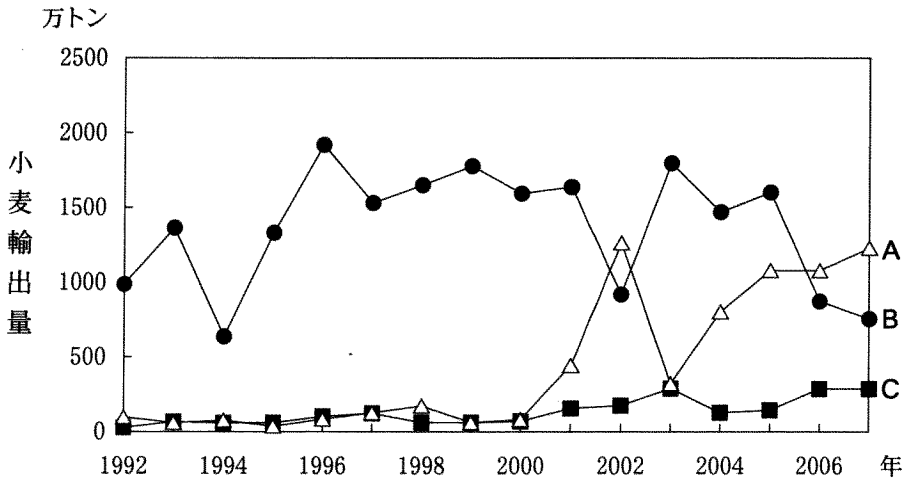
統計年次は2003年。農林水産省の資料などにより作成。

図 3

中央・南アメリカでは、他の地域に比べると農業従事者1人当たり農業総生産は高いものの、穀物自給率が低いことや、①国内の所得格差が大きいことなどにより、依然として栄養不足人口をかかえる国々がみられる。中・南アフリカでは、②紛争などにより、農業従事者1人当たり農業総生産と穀物自給率の両方が他の地域に比べて低い国々がみられる。また、中・南アフリカでは、③人口増加や土地生産性の低さなどにより、穀物自給を達成できていない国々が多い。東南・南アジアでは、④プランテーション農業が発達したことなどにより、他の地域に比べて穀物自給を達成している国々の割合が大きい。

問 3 世界の穀物供給は、生産国の社会状況や自然条件の影響を受けて変動する。次の図4は、小麦輸出量の推移を国別に示したものであり、A～Cは、オーストラリア、中国\*、ロシアのいずれかである。A～Cと国名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 32

\*台湾を含まない。



United States Department of Agriculture の資料により作成。

図 4

## 地理 A

|   | A       | B       | C       |
|---|---------|---------|---------|
| ① | オーストラリア | 中国      | ロシア     |
| ② | オーストラリア | ロシア     | 中国      |
| ③ | 中国      | オーストラリア | ロシア     |
| ④ | 中国      | ロシア     | オーストラリア |
| ⑤ | ロシア     | オーストラリア | 中国      |
| ⑥ | ロシア     | 中国      | オーストラリア |

問 4 食料問題の解決を目的としてすすめられた農業技術改革に、「緑の革命」がある。「緑の革命」について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 多収量品種の開発と普及によって、米や小麦の単位面積当たりの生産量が増加した。
- ② 在来品種に比べて害虫や病気に強い品種が開発され、普及したため、農薬の使用が減少した。
- ③ 安定的な水の供給を必要とするため、<sup>かんがい</sup>灌漑設備が整備された地域に主に普及した。
- ④ 高価な機械や資材を必要とするため、裕福な農民が主にその恩恵を受け、貧富の差が広がった地域が多くあった。

問 5 次の①～④の文は、韓国、タイ、中国、メキシコのいずれかについて、大気汚染の状況とその背景を述べたものである。中国に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

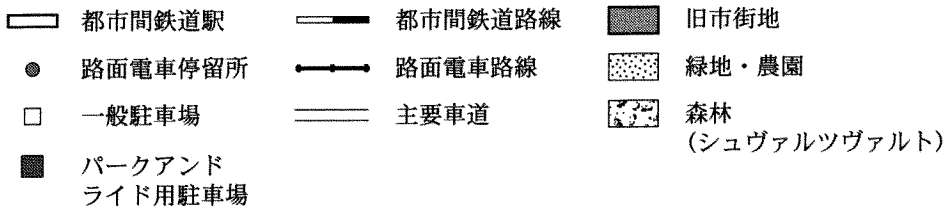
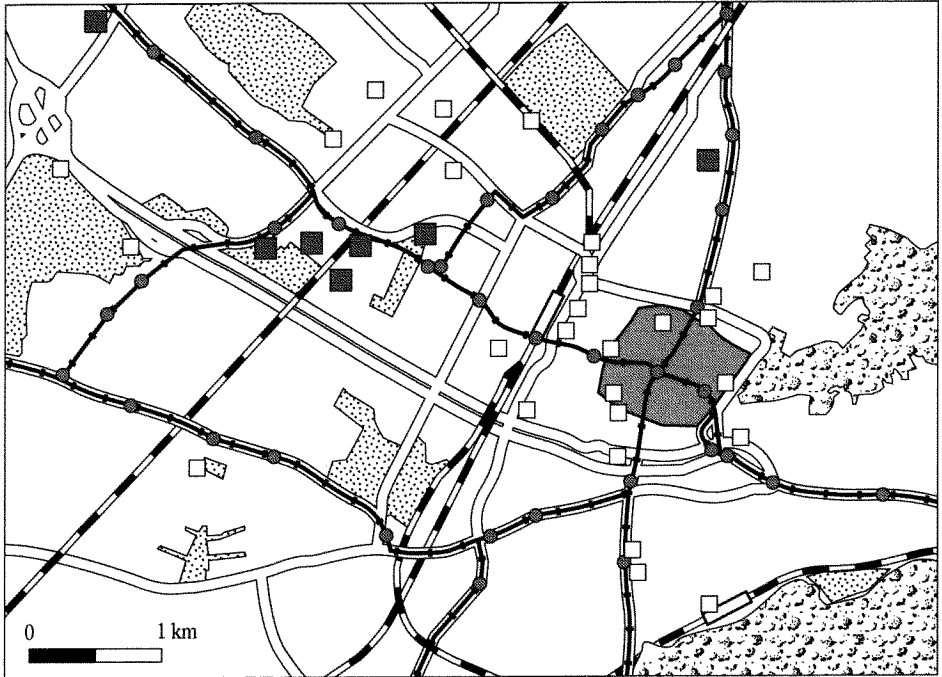
- ① 経済発展にともない急増するエネルギー需要の多くを、国内で豊富に産出する石炭によってまかなっており、それが大気汚染の一因となっている。
- ② 住宅が密集する地域では、家庭用の床暖房からの排煙が大気汚染の一因となってきたほか、近年では隣国からの越境大気汚染も問題となっている。
- ③ 首都では、人口が集中する首位都市であるうえ、もともと運河が多く道路の整備が遅れたため、交通渋滞に起因する大気汚染が問題となっている。
- ④ 首都では、標高が高い盆地に位置することや、中古車が多く使用されていることなどにより、排気ガスによる大気汚染が問題となっている。



## 地理 A

問 6 ドイツのフライブルク市は、様々な環境政策を実施している先進的な都市として知られている。次の図 5 はフライブルク市の中心商業地である旧市街地とその周辺の交通網を示している。図 5 に関連することがらについて述べた次ページの文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。

35



フライブルク市の資料により作成。

図 5

フライブルク市は、①酸性雨によるシュヴァルツヴァルトの樹木の立枯れなどをきっかけに、自動車の排気ガス削減に向けた交通政策を実施した。かつて旧市街地では交通渋滞が頻繁にみられたが、②旧市街地の縁辺やこれを取り囲む車道沿いに一般駐車場を多く設置することで、中心部への車の乗り入れ抑制を実現した。また、旧市街地に最も近い③都市間鉄道駅に路面電車停留所を接続させて、旧市街地中心部への路面電車の利用を促進した。さらに、④旧市街地の住民による郊外の緑地・農園での余暇活動を促すために、パークアンドライド用駐車場を設置した。このほか様々な工夫によって、排気ガス削減を達成した。

地理 A

問 7 下のカ～クの文は、次の図 6 中の X～Z のいずれかの国における日本の ODA (政府開発援助) について述べたものである。カ～クと X～Z との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 36

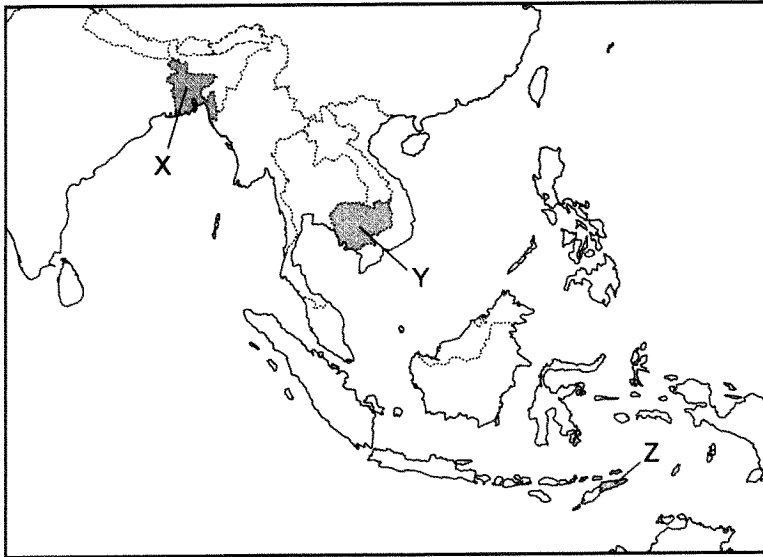


図 6

- カ サイクロンの被害に対して、テントや毛布などの緊急物資援助を行うほか、国連組織を通じて無償資金援助を行った。
- キ 1999 年まで続いた独立紛争の後の経済復興のため、NGO (非政府組織) と協力して農業開発援助を行った。
- ク 対人地雷の撤去のため、政府機関てつきよに対する資金援助や資材供与を行った。

|   | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| カ | X | X | Y | Y | Z | Z |
| キ | Y | Z | X | Z | X | Y |
| ク | Z | Y | Z | X | Y | X |

(下書き用紙)